

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	人工心肺使用症例におけるプロタミン再投与を要した事例に関する検討
研究責任者	臨床工学室 増井浩史
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2024年9月
対象者	2023年3月～2023年12月までの間に聖隷浜松病院心臓血管外科に通院または入院した待機的成人開心術患者さん。
研究の意義・目的	人工心肺使用症例では、離脱後に硫酸プロタミンを用いて、ヘパリンを中和する方法が用いられます。しかし、一旦中和された後に、ヘパリンの作用が再び出現する「リバウンド現象」が、一定の頻度で発生することが報告されています。今回の研究では、ICU 帰室後に、プロタミンの再投与を要した事例について調査し、影響を与える因子を検討します。今後は検討結果をもとに、心臓血管外科医師や麻酔科医師と協力し、ヘパリンリバウンドに起因する出血傾向を、早期に発見できる体制の構築に繋がりたいと考えています。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から患者背景、血液データ、体外循環データの項目の調査をし、後向き観察研究を行いません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 臨床工学室 増井浩史 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日